

※※2007年8月1日改訂(第5版)
 ※2005年10月1日改訂(第4版)

器具器械(51) 医療用尿管及び体液誘導管
 滅菌済み体内留置排液用チューブ及びカテーテル

J-VAC* ドレナージシステム

再使用禁止

【警告】

1. トロッカー針は鋭利なため、組織や血管の損傷に十分注意して使用すること。[トロッカー針を頭部に用いた際に、血管損傷による硬膜外出血、硬膜下出血等重篤な合併症を発生させたとの報告があるため。]
2. リザーバー作動時には、エアリーク等に十分注意し、必ず吸引が行われていることを確認すること。[閉鎖型吸引ドレナージシステムは常に吸引が維持されていることが必要であるため。【使用上の注意】2.重要な基本的注意,5)を参照。]
3. 先の尖った刃のある器具、または鈍器での取扱いは十分に注意すること。[ドレインは柔軟で傷つきやすいため、鋭利なものに触れたり、ミルキングローラー等での圧搾や過度の圧迫によって、切れたり裂けたりする可能性があるため。]

【禁忌・禁止】

- ※※ 1. 断続的に空気を吸引する可能性のある部位にドレインを留置する場合には、リザーバーを使用しないこと。[リザーバーが全開し、吸引できなくなるため。【使用上の注意】2.重要な基本的注意,16)を参照。]
- 2. 過去にアナフィラキシー様症状の経験のある医療関係者及び患者への使用禁止。[リザーバーの逆流防止弁に天然ゴムを使用しているため。]
- 3. 本品を頭部に使用する場合は、中枢神経組織に直接接触の可能性のある部位には留置使用しないこと。
- 4. ドレインを縫合したり切りこみを入れたりしないこと。[ドレインの破損、または創傷内での切離を引き起こす恐れがあるため。]
- 5. リザーバーに集液された血液の再使用禁止。
- 6. 本品は本品の目的用途以外には使用しないこと。
- ※※ 7. 再使用、再滅菌禁止。

【併用禁忌】

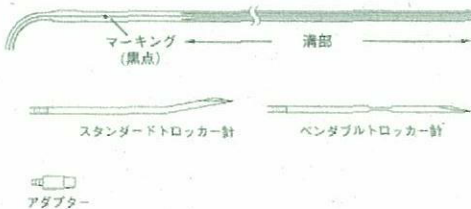
1. リザーバー(スタンダード型)に使用されているスプリングは磁性体であるため、MRI検査機器等使用時にはリザーバーを使用しないこと。[強力な磁場によりリザーバーが機器等に吸い付けられ、ドレイン抜去・リザーバーの脱落、検査機器等への影響が考えられるため。]
- ※※ 2. リザーバーの排出口に他の吸引器を接続して使用しないこと。[【使用上の注意】2.重要な基本的注意,17)を参照。]

【形状・構造等】

本品は体内に留置して、創部の排液を吸引するドレインと、それに接続して吸引・貯留を行なう低圧持続型リザーバーをセットとした滅菌済み排液システムである。

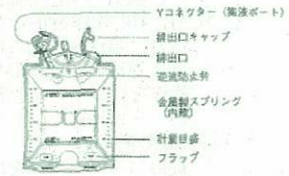
1) ドレイン

※※ 全体図

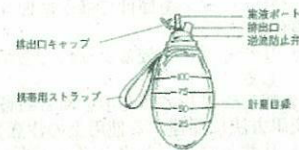


ドレインにはシリコンゴムを使用。リザーバー接続用のアダプターを同梱。ドレインにはトロッカー針付きとトロッカー針の付かない2タイプがある。

2) リザーバー
 ※※ 全体図
 スタンダード型



バルブ型



- ・ リザーバーの逆流防止弁には天然ゴムを使用。
- ・ リザーバー(スタンダード型)にはポリ塩化ビニルを使用。
- ・ リザーバー(スタンダード型)には1本または2本、リザーバー(バルブ型)には1本のドレインの接続が可能。
- ・ 使用前、リザーバー(スタンダード型)は閉じた状態で梱包されている。

【性能、使用目的、効能又は効果】

1. 体内に留置し、術後、創部の血液、破壊組織、浸出液等の排液を体外に吸引・排出する。
2. 滅菌済みであるので、そのまま直ちに使用できる。

※【操作方法又は使用方法等(用法・用量を含む)】

1. ドレインの設置
 - 1) 生理食塩液で創内を洗浄し、凝血塊・組織片を吸引排出する。
 - 2) ドレインを創内の最もドレナージを必要とする部位にねじれないように設置し、創縁から2~5cmの位置をトロッカー針で体内から穿刺、あるいはスカルペルを用いて皮膚切開を行いドレイン刺入部を作成する。この際ベンダブルトロッカーにより穿刺する場合は、あらかじめ針先にキャップの付いた状態で適当な角度に曲げを調節する。一度ベンダブルトロッカーの角度調整が決まったら、繰り返しベンダブルトロッカーを曲げないこと。ドレインの溝部端から約5cmの所に黒点がついているので、ドレインを固定する際の目安にする。
 - 3) トロッカー針付きのドレインの場合、2)の操作後にトロッカー針を切りはなし、アダプターを差し込む。
 - 4) ドレインをテープ固定または針糸でループ状に固定する。
- 2-a. スタンダード型の操作

〈リザーバーの作動〉

 - 1) アダプターをリザーバーのYコネクターに接続する。
 - 2) 閉創後リザーバー底部のフラップを音がするまで静かに上方に折り曲げて吸引の開始を確認する。

〈排液量の測定〉

 - 1) 排出口のプラグを開け、リザーバーの中に空気を入れ、リザーバーを全開にする。
 - 2) リザーバーの側面の目盛で計算する。

〈排液〉

リザーバーを傾けて排出口より排液する。この際リザーバー圧縮を繰り返す場合は浅めにゆっくりと行なう。

〈再作動〉

 - 1) リザーバーを指ではさみ、リザーバーの中央部を音がするまで強く押す。
 - 2) リザーバー底部のフラップをうしろにやや折り曲げて固定する。
 - 3) 排出口のキャップを閉める。
 - 4) リザーバー底部のフラップを音がするまで静かに上方に折り曲げて吸引の再開を確認する。

取扱説明書を必ずご確認ください。